

他者理解（先生にインタビュー）

令和7年1月22日（水）

総合講座「福祉」コースでは、「他者理解」を目的として異なる世代の人から過去の経験等、貴重な話を聞く時間を設定し、生徒が先生方にインタビューする形式で行いました。

小グループで、副校長やスクールカウンセラー、養護教諭に「昔の遊びや出来事で心に残っていること、嬉しかったこと、つらかったこと」などを質問しました。話を聞くうちに、先生方の意外な一面を知ることができたり、今と昔の違いについて考えさせられたりし、有意義な時間になりました。

総合講座の活動は、本日で終わりになりますが、これまでの体験を通して、福祉に興味を持ち、生活に生かして行ってほしいと思います。

